

1 市民アンケート（市民実感度の測定）の補足質問見直し案

【趣旨】 新たな京都市環境基本計画及び分野別計画に掲げる高い目標の達成，新たな施策の効果を，よりの的確に評価・分析するため，アンケートの補足質問を見直す。

● 補足質問とは

京都市環境基本計画に設定する11の「主観的指標」を分析・評価するとともに，分野別計画の施策等の効果を評価・分析するための質問。令和2年度のアンケート調査では32の補足質問を設定

● 補足質問の活用方法（PDCAツール）

- ・ 主観的指標の要因分析
- ・ 分野別計画に掲げる施策の効果や進捗状況の把握
- ・ 個別施策の見直し・点検

● 市民アンケート調査の概要

方法：インターネットによる調査（民間委託）

対象：市内在住の15～79歳の男女（1,000名）

時期：毎年度2月頃

主観的指標を分析・評価するための補足質問案

2 補足質問の見直しの視点

● 市民の実感度が高い（概ね7割以上）質問は変更

例）地球温暖化対策に取り組むことで生活の質が向上すると思うか？

令和2年度結果は、69.8%の方が「そう思う」と回答

変更案→地球温暖化対策に取り組むことで生活の質が良くなったと感じることは何か？

● 知識を得た方が、どのような行動に移しているかを問う質問に変更

例）食品ロスの削減に取り組んでいない理由は何か？

変更案→食品ロスを減らすために取り組んでいることは何か？

● 客観的指標や主観的指標では評価しにくい事項について新たに質問を設定

例）ライフスタイル転換の施策効果を把握するため、エシカル消費の状況を質問

新規設定案→買い物をする時に、意識していることは何か？

● 施策等の効果により市民の満足度が変化するまでに時間がかかり、突発的な事象等の影響を少なくするため、今回設定する質問は、今後5年間（2021（令和3）年度～2025（令和7）年度）、基本的に変更しない。

長期的目標 1 持続的な発展が可能となる脱炭素のまち

- 京都における地球温暖化への適応策を検討するために、市民の関心はどの分野に高いか把握する質問に変更
- 地球温暖化対策計画に掲げた「高効率家電・機器の普及（家庭部門）」、「太陽光発電設備の普及」及び「再生可能エネルギー電気の選択促進」によるCO₂削減見込量を算定する基礎データとする質問に変更

主観的指標		
・ 豪雨や熱中症など地球温暖化の影響と思われる危機が自分たちの生活に迫りつつあると感じるか。 ・ 徒歩や自転車，公共交通機関優先の取組が年々進んでいると感じるか。 ・ 省エネルギーや節電の取組が年々進んでいると感じるか。 ・ 再生可能エネルギー導入の取組が年々進んでいると感じるか。		
補足質問案		変更
1	どの分野において，地球温暖化・気候変動の影響を感じるか。	●
2	地球温暖化対策に取り組むことで，あなたの生活の質が良くなったと感じることは何か。	●
3	1年間のうち買い替えた家電は何か。	●
4	10年以上使用している家電は何か。	●
5	再生可能エネルギーを家庭で利用しているか。	

長期的目標 2 生物多様性豊かな自然環境と調和した快適で安心・安全なまち

生物多様性プランの目指す方向性「『知る』から『行動』へ」に基づく施策の進捗状況を評価するための選択肢に変更

主観的指標		
・ 空気や河川の水がきれいに保たれていると感じるか。 ・ 多様な生きものが生息する良好な自然環境が保たれていると感じるか。 ・ 自然環境と調和した文化や暮らしが広がっていると感じるか。		
補足質問案		変更
1	空気や河川の水がきれいに保たれていると感じない理由は何か。	
2	多様な生きものが生息する良好な自然環境が保たれていると感じない理由は何か。	
3	「生物多様性」という言葉を知っているか。	
4	普段の生活の中で、自然を身近に感じる機会があるか。	
5	私たちの暮らしや経済活動は、多様な生きものにより支えられていると感じるか。	
6	生物多様性を守るために、どのようなことに取り組んでいるか。	
7	生物多様性を守るために何も行っていない理由は何か。	
8	どのような「自然環境と調和した文化や暮らし」が広がっていると感じるか。	

長期的目標 3 資源・エネルギーの有効利用と環境負荷の低減を図る循環型のまち

- 京・資源めぐるプランに掲げた「徹底したプラスチックの削減・資源循環」に関して、市民の行動や認識を把握し、施策の進捗状況を評価するための質問を追加
- 有害危険物の分別処理体制構築に向け、特に、充電式電池や小型家電の分別にどの程度取り組んでいるか把握し、周知啓発効果を評価するための質問を追加

主観的指標		
・マイバッグの携帯などのごみを出さない暮らしが広がっていると感じるか。 ・ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみの分別・リサイクルが進んでいると感じるか。		
補足質問案		変更
1	買い物時に、どの程度の頻度でレジ袋を辞退しているか。	
2	買い物時に、レジ袋を受け取る頻度が高い店はどのような業種の店か。	●
3	ペットボトルを減らすために取り組んでいることは何か。	●
4	プラスチックごみを減らすために取り組んでいることは何か。	●
5	食品ロスを減らすために取り組んでいることは何か。	●
6	リユース（再使用）に取り組んでいることがある場合、どのような取組か。	●
7	プラスチック製容器包装の分別にどの程度取り組んでいるか。	●
8	プラスチック製容器包装を分別しないことがある場合、どのような理由が多いか。	●
9	「雑がみ」の分別にどの程度取り組んでいるか。	
10	「雑がみ」を分別しないことがある場合、どのような理由が多いか。	
11	充電式電池や小型家電の分別にどの程度取り組んでいるか。	●
12	充電式電池や小型家電を分別しないことがある場合、どのような理由が多いか。	●

長期的目標 4 環境保全を総合的に推進するためのひと・しくみづくり

- ライフスタイル転換の施策効果を把握するため、エシカル消費の取組状況を把握する質問を新たに設定
- 他都市との連携及び国際的な取組の推進に対する評価を行うため、市民の認識を問う質問を新たに設定

主観的指標		
・ 学校や会社，地域で環境学習や環境保全活動の機会が増えていると感じるか。 ・ 環境に配慮したライフスタイルが広がっていると感じるか。		
補足質問案		変更
1	環境教育・学習や環境保全活動に関する情報を十分に得られているか。	
2	環境学習や環境保全活動に参加したことがあるか。	
3	買い物をする時やサービスを利用するときに，意識していることは何か。	●
4	京都議定書誕生の地である京都市は，これまで，国内や海外の他都市との連携を深めながら地球温暖化対策に取り組んでいる。この取組についてどのように考えるか。	●

すべての長期的目標に関する補足質問案

令和3年度から、新型コロナウイルス感染症による影響を問う質問を追加

補足質問案		変更
1	環境保全や環境問題に対して関心があるか。	
2	新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに、環境保全に対する意識が変わったか。	●